

令和4年度事業報告書

社会福祉法人 階上町社会福祉協議会

会務の運営

1. 理事会

回	開催月日	開催場所	出席数	議 案		結 果
1	令和4年 6月8日 (水)	ハートフルプラザは しかみ (大ホール)	理事 11名 監事 3名	議案第1号 議案第2号 議案第3号 議案第4号 人事案1号 協 議	令和3年度事業報告並びに決算報告について 令和4年度資金収支補正予算（案）について 令和4年度定時評議員会の招集について 令和4年度第1回評議員選任・解任委員会の招集について 評議員の選任候補者の提案について 令和4年度共同募金配分申請事業について	承 認 原案同意 原案決議 原案決議 原案決議 原案承認
2	令和4年 10月27日 (木)	ハートフルプラザは しかみ (中会議室)	理事 11名 監事 3名	報告第1号 報告第2号 報告第3号 議案第1号 議案第2号	令和4年度資金収支補正予算を専決した事項の承認について 令和4年度社会福祉法人に係る指導監査実施結果について 会長及び常務理事の職務の執行状況について 育児・介護休業等に関する規則の一部を改正する規則の制定 について 臨時職員・パート職員・登録職員給与規程の一部を改正する 規程の制定について	承 認 原案決議 原案決議
3	令和5年 3月8日 (水)	ハートフルプラザは しかみ (大会議室)	理事 9名 監事 3名	報告第1号 報告第2号 報告第3号 議案第1号 議案第2号 議案第3号 議案第4号 議案第5号 議案第6号 議案第7号 議案第8号 人事案1号 人事案2号	令和4年度共同募金配分事業変更計画について 令和4年度自己評価実施結果について 会長及び常務理事の職務の執行状況について 定款の一部を改正する定款の制定について 評議員及び役員等選任規程の一部を改正する規程の制定に ついて 職員給与規程の一部を改正する規程の制定について 臨時職員・パート職員・登録職員給与規程の一部を改正する 規程の制定について 令和4年度資金収支補正予算（案）について 令和5年度事業計画並びに資金収支予算（案）について 令和4年度第2回評議員会の招集について 令和4年度第2回評議員選任・解任委員会の招集について 評議員の選任候補者の提案について 利用者からの苦情解決の取り組みに関する第三者委員の選 考について	 原案決議 原案決議 原案決議 原案決議 原案同意 原案同意 原案決議 原案決議 原案決議 選 考

2. 評議員会

回	開催月日	開催場所	出席数	議 案	結 果
1	令和4年 6月24日 (金)	ハートフルプラザは しかみ (大ホール)	評議員 31名 理事 4名 監事 3名	議案第1号 令和3年度事業報告並びに決算報告について 議案第2号 令和4年度資金収支補正予算(案)について 協 議 令和4年度共同募金配分申請事業について	承 認 原案承認 原案承認
2	令和5年 3月24日 (金)	ハートフルプラザは しかみ (大ホール)	評議員 28名 理事 3名	報告第1号 令和4年度社会福祉法人に係る指導監査実施結果について 報告第2号 令和4年度資金収支補正予算を専決した事項の承認につ て 報告第3号 令和4年度共同募金配分事業変更計画について 報告第4号 令和4年度自己評価実施結果について 議案第1号 定款の一部を改正する定款の制定について 議案第2号 令和4年度資金収支補正予算(案)について 議案第3号 令和5年度事業計画並びに資金収支予算(案)について 協 議 利用者からの苦情解決の取り組みに関する第三者委員の選 考について	承 認 原案決議 原案承認 原案承認

3. 監査会

回	開催月日	開催場所	出席数	内 容	結 果
1	令和4年 5月30日 (月)	ハートフルプラザは しかみ (中会議室)	監事 3名	1. 令和3年度業務執行状況について 2. 令和3年度計算関係書類、財産目録について	適正に処理さ れていること を認めた
2	令和4年 11月28日 (月)	ハートフルプラザは しかみ (中会議室)	監事 3名	1. 令和4年度上半期業務執行状況について 2. 令和4年度上半期計算関係書類、財産目録について	適正に処理さ れていること を認めた

4. 評議員選任・解任委員会

回	開催月日	開催場所	出席数	議 案	結 果
1	令和4年 6月13日 (月)	ハートフルプラザは しかみ (応接室)	委員 4名	人事案1号 評議員の補欠の選任について	選 任
2	令和5年 3月15日 (水)	ハートフルプラザは しかみ (応接室)	委員 4名	人事案1号 評議員の補欠の選任について	選 任

5. 専門部会

(1) 総務企画部会

回	開催月日	開催場所	出席数	協議案件
1	令和5年 2月20日 (月)	ハートフルプラザ・は しかみ (小会議室)	部会員 5名	1. 令和4年度共同募金配分事業変更計画(案)について 2. 自主財源について 3. ハートフルプラザ・はしかみ指定管理について 4. 介護保険事業について 5. その他

(2) 地域福祉部会

回	開催月日	開催場所	出席数	協議案件
1	令和5年 1月31日 (火)	ハートフルプラザ・は しかみ (小会議室)	部会員 4名	1. 部会長、副部会長の互選 2. 地域福祉懇談会実施結果について 3. 福祉に関する住民意識調査集計結果について 4. その他
2	令和5年 2月20日 (月)	ハートフルプラザ・は しかみ (小会議室)	部会員 4名	1. 令和5年度実施事業の検討について 2. 令和4年度共同募金実績及び配分事業の検討について 3. その他

6. 幹部会

回	開催月日	開催場所	出席者数	協 議 案 件
1	令和4年 6月2日 (木)	ハートフルプラザ・は しかみ (中会議室)	5名	1. 令和4年度第1回理事会提案議案について 2. 令和4年度定時評議員会提案議案について 3. 令和4年度第1回共同募金委員会運営委員会提案議案について 4. 令和3年度介護保険事業等実績について 5. 令和4年度社協会費について 6. 地域福祉懇談会について 7. 第72回三戸郡社会福祉大会被表彰候補者の推薦について 8. その他
2	令和4年 8月31日 (水)	ハートフルプラザ・は しかみ (応接室)	4名	1. 令和4年度第2回共同募金委員会運営委員会提案議案について 2. 令和4年度社協会費実績状況について 3. 第44回町社会福祉大会について 4. 第71回県社会福祉大会の参加について 5. 令和4年度県指導監査実施結果について 6. ハートフルプラザ・はしかみ指定管理について 7. 敬老会中止に伴う記念品等について 8. 職員募集について 9. その他
3	令和4年 10月24日 (月)	ハートフルプラザ・は しかみ (応接室)	5名	1. 令和4年度第2回理事会提案議案について 2. 令和4年度社協会費実績状況について 3. ハートフルプラザ・はしかみ指定管理について 4. その他
4	令和4年 12月22日 (木)	ハートフルプラザ・は しかみ (応接室)	4名	1. 令和4年度共同募金実績状況について 2. 令和4年度介護保険事業等実績状況について 3. 民生委員児童委員の一斉改選に伴う理事・評議員の状況について 4. いきいきシルバーバンク事業について 5. ハートフルプラザ・はしかみ指定管理について 6. 職員募集について 7. その他
5	令和5年 3月3日 (金)	ハートフルプラザ・は しかみ (応接室)	3名	1. 令和4年度共同募金配分事業変更計画について 2. 令和4年度第3回理事会、第2回評議員会提案議案について 3. 令和4年度第3回共同募金委員会運営委員会提案議案について 4. 役員等の選任スケジュールについて 5. その他

理事・監事・評議員等名簿

令和5年3月31日現在

1. 理事（定数10名以上13名以内）

会 長	松 橋 竹 子
副 会 長	堰 合 勝 美
常 務 理 事	鳩 文 男
理 事	平 野 悦 子
	松 川 金次郎
	中屋敷 司

中 島 孝 一
岩 城 恵 子

森 榮 吉
梨 子 謙 一

2. 監事（定数3名以内）

上 博 文 郷 州 満 田 中 昇

3. 評議員（定数31名以上34名以内）

山 下 和 子	岩 谷 悦 子
廣 田 勝 三	小 室 行 弘
土 橋 美智子	荻 沢 一 信
左 舘 幸 雄	野 沢 敏 雄
守 政 美	木 村 良 三
澁 谷 一 枝	坂 本 憲 子
下 野 禮知子	石 川 清 香
中 田 美亀雄	坂 美智夫
畑 中 清 二	袖 平 宏 之

外 崎 礼 子
磯 島 富 盛
南 正 人
境 栄 治
上 平 稔
田 端 悟
鈴 木 爾
小 坂 尚

土 橋 秀 子
松 川 純 悦
鹿 原 仁
日 向 登美男
大 下 修
下 野 ス ミ
佐 京 忠 史
平 戸 由紀子

4. 評議員選任・解任委員会委員（定数4名）

上 博 文 工 藤 靖 夫 郷 州 満 山 内 良 子

実施報告

I 住民参加と小地域ネットワーク活動の推進

1. 地域住民の主体的福祉活動の推進

(1) 生活支援体制整備事業

新型コロナウイルスの感染防止に努めながら、ほのぼの交流協力員やネット協力員による、一人暮らしの高齢者等の訪問活動を進め、互いに支え合う体制・地域づくりの推進に努めた。また、地域の福祉課題把握等のための民生委員、区長、ほのぼの交流協力員等との情報交換会を開催した。

○ほのぼの交流協力員連絡会議の開催

ほのぼの交流協力員チーフを対象として、事業推進のための連絡会議を開催した。

- ・期 日 令和4年7月4日（月）
- ・場 所 ハートフルプラザ・はしかみ（大会議室）
- ・参加者 17名
- ・内 容 ほのぼの交流会開催計画について、事業推進に係る質問意見について 等

○情報交換会の開催

地区名	期 日	場 所	参加者	地区名	期 日	場 所	参加者
石 鉢	令和5年1月6日	石鉢ふれあい交流館	8	耳ヶ吠東	令和5年1月12日	耳ヶ吠東集会所	9
蒼 前	令和5年1月5日	蒼前集会所	7	荒 谷	令和5年1月16日	旧荒谷集会所	1
野場中	令和5年1月6日	石鉢ふれあい交流館	9	大 蛇	令和5年1月17日	大蛇三地区集会所	6
角柄折	令和5年1月5日	新田集会所	3	追 越	令和5年1月17日	大蛇三地区集会所	6
金山沢	令和5年1月11日	金山沢水郷館	6	榊	令和5年1月18日	道仏交流センター	6
田 代	令和5年1月10日	田代集会所	3	駅 前	令和5年1月18日	道仏交流センター	11
晴山沢	令和5年1月10日	わっせ交流センター	4	道 仏	令和5年1月16日	道仏集会所	11
平 内	令和5年1月10日	わっせ交流センター	6	小舟渡	令和5年1月23日	小舟渡集会所	10
鳥屋部	令和5年1月11日	森の交流館	6				
赤保内・助成西	令和5年1月12日	赤保内集会所	9	合 計			121

○ほのぼの交流協力員・生活介護支援サポーター研修会の開催

新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、参加者をほのぼの交流協力員チーフ、生活介護支援サポーターに限定し研修会を開催した。

- ・期 日 令和5年2月17日（金）
- ・場 所 ハートフルプラザ・はしかみ（大ホール）
- ・参加者 15名
- ・内 容 講義「認知症をもっと知ろう」
講師 八戸学院大学短期大学部 介護福祉学科
講師 小山田 啓子 氏

○地区別交流協力員・ネット協力員の状況

地区名	対象世帯	交流協力員チーム数	交流協力員数	ネット組織世帯	ネット協力員数
石 鉢	3 7	1	6	3	4 (1)
蒼 前	3 5	2	5	1	4
野 場 中	5 1	2	5	2	6
角 柄 折	2 2	1	3	0	0
金 山 沢	5 7	4	8	0	0
田 代	2 5	2	4	1	4
晴 山 沢	2 4	1	6	0	0
平 内	2 0	2	7	0	0
鳥 屋 部	3 0	2	7	0	0
赤 保 内	3 5	1	9	1	4
耳 ケ 吠 西					
耳 ケ 吠 東	3 2	1	9	3	5 (2)
荒 谷	2 3	1	4	0	0
大 蛇	4 3	1	5	0	0
追 越	1 4	1	5	0	0
榊	2 4	1	7	0	0
駅 前	5 1	4	1 0	1	4
道 仏	2 8	5	1 3	1	1
小 舟 渡	3 7	2	7	1	3
合 計	5 8 8	3 4	1 2 0	1 4	3 5 (3)

※ () 内は、ネット協力員も兼ねているほのぼの交流協力員の人数

(2) ほのぼの交流会開催事業

新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、ほのぼの交流協力員と連携し感染予防・防止対策を行いながら事業の推進を図った。交流会開催にあたっての企画支援や介護予防運動指導員等の派遣調整を行い、参加者同士の交流と地域での仲間づくりを推進した。また、「ほのぼのサロン」についても介護予防体操を実施し、高齢者の閉じこもり防止と参加者同士の交流を図った。

○交流会開催状況

地区名	開催回数	場 所	参加者	地区名	開催回数	場 所	参加者
石 鉢	1	石鉢ふれあい交流館	3 7	耳 ケ 吠 東	5	耳ケ吠東集会所等	9 7
蒼 前	6	蒼前集会所	1 6 8	荒 谷	4	旧荒谷集会所	7 4
野 場 中	5	石鉢ふれあい交流館等	1 7 1	大 蛇	7	大蛇三地区集会所	1 2 7
角 柄 折	4	新田集会所	5 6	追 越	5	大蛇三地区集会所	4 4
金 山 沢	7	金山沢水郷館等	6 7	榊	5	道仏交流センター	1 0 2
田 代	6	田代集会所等	1 0 4	駅 前	4	道仏交流センター等	1 2 3
晴 山 沢	5	わっせ交流センター等	5 3	道 仏	4	道仏集会所等	1 0 8
平 内	5	わっせ交流センター	9 2	小 舟 渡	5	小舟渡集会所等	1 6 0
鳥 屋 部	8	森の交流館	1 3 9				
赤保内・耳ケ吠西	5	赤保内集会所	1 1 2	合 計	9 1		1,834

※ 金山沢は、水無、野場、金山沢、長根班それぞれで開催。赤保内は、耳ケ吠西と合同で開催。

○ほのぼのサロン実施状況

場所	開催時期	開催回数	参加者
田代集会所	5/10、17、24、31	4	33
赤保内集会所	6/1、8、15、22、29	5	63
道仏交流センター	7/5、12、19、26	4	90
石鉢ふれあい交流館	8/3、10、17、24、31	5	37
森の交流館	9/6、13、27	3	37
大蛇三地区集会所	10/5、12、19、26	4	68
わっせ交流センター	11/7、14、21、28	4	28
金山沢水郷館	12/7、14、21、28	4	48
計		33	404

(3) 緊急通報システム福祉安心電話サービス事業

協力員や民生委員、県社協（中央センター）、関係機関等と連携を図りながら、1人暮らしの高齢者等が住み慣れた地域で生活する上での、緊急時の身体的安全と精神的安心のため、365日24時間対応サービスとしての運営及び近隣住民による見守り活動の推進を図った。また、設置世帯を訪問し機器の点検や通報確認・消耗品等の交換と利用者の状況把握を行うとともに、事業周知に努めながら互いに支え合うネットワークづくりの推進を図った。

○本年度設置台数 3台

○事業退会者数 0名

○年度末総設置台数 14台

○協力員数 35名

○通報着信・対応状況

通報着信状況						
緊急	相談	火災	A C復電	A C停電	電池切れ	計
2	1		6	6	1	16

対応状況							
協力員要請	救急車要請	消防車要請	救急・協力員要請	消防・協力員要請	停電・協力員要請	社協対応等	計
		1	1			1	3

(4) 敬老会開催事業

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、地区による敬老会を中止し、75歳以上の高齢者を対象として、記念品（紅白らくがんとクッキーセット、紅白名入りタオル）、しおりを配布する経費の助成金として記念品配布協力費を各行政区に助成した。

○敬老会しおりの作成 2,300部

2. 当事者の社会参加の促進

(1) 介護予防・地域支援事業の推進

高齢者の介護予防と生きがいの促進及び家族介護者支援のため、ハート生き活き事業、認知症カフェ設置事業、通所型サービスC事業、家族介護者交流事業を、町地域包括支援センターや関係機関との連携のもとに推進を図った。

①ハート生き活き事業

4/4、4/7の2回は、ハートフルプラザ・はしかみ館内の利用規制により入浴サービス利用希望者のみ、月曜日は赤保内三地区、木曜日は赤保内三地区以外の方を対象に午前中のみ利用いただいた。4/11より新型コロナウイルス感染防止対策として、利用者の密を避けるため午前中は赤保内三地区以外、午後は赤保内三地区を対象に実施した。事業は、毎週2回（月曜・木曜日）看護師による健康相談と入浴サービス、趣味講座は詩吟とカラオケを除く、裂き織り・手芸・舞踊・体操を実施し、利用者の心身の健康保持及び要介護状態への予防を図った。

さらに、ボランティアによる見守りのもと、エクササイズ機器やリラクゼーション機器の使用により利用者の心身の健康保持及び要介護状態への予防・啓発を図った。

○事業実施回数 91回（月曜日44回、木曜日47回）

○延べ利用者数 3,179名（月曜日1,339名、木曜日1,840名）

○利用登録者数 87名（男性28名、女性59名）

○実利用者数 73名（男性18名、女性55名）

○新規利用者数 15名（男性5名、女性10名）

○入浴サービス延べ利用者数 2,558名

○趣味講座実施状況

講座名 項目	舞踊	手芸	裂き織り	体操	合計
実施回数	44	46	89	12	191
利用実人数	5	10	7	26	48
利用延べ人数	172	200	245	153	770

講師 舞踊：木村キミ、手芸：竹本肥子、裂き織り：奥山キミ子

②認知症カフェ設置事業

認知症の方やその家族及び地域住民、ハート生き活き事業利用者を対象に、認知症についての相談や情報提供、助言のほか、認知症についての正しい知識や普及啓発を図るとともに、相互の交流の場として、ハートフルプラザ・はしかみに毎週2回（月・木曜日）認知症カフェとして「はあとカフェ」を設置した。

○実施回数・時間 91回（月曜日44回、木曜日47回） 午前10時～12時、午後1時～3時

○実利用者数 50名（男性10名、女性40名）

○延べ利用者数 2,007名（月曜日818名・木曜日1,189名、男性385名・女性1,622名）

○実施内容

- ・看護師及び専門職員等による相談、助言等
- ・認知症予防運動教室12回（毎月1回）、参加者延べ人数153人

○認知症予防運動教室

・外部講師

中村真由美（介護予防指導士）、関下和彦（健康運動指導士）、関下りち子（健康運動指導士）

小西池郁子（介護予防運動指導員）、川口太陽（日本体育施設協会認定トレーニング指導士）

・体操指導員

熊谷唱子、守 キエ、上長根眞弓

○カフェボランティア

利用者との話し相手や、飲物の提供のほか、感染防止のため室内の消毒・換気等、認知症カフェ運営にご協力をいただいた。（カフェボランティア登録者7名）

③通所型サービスC事業

介護予防運動指導員、作業療法士等関係者と連携し、石鉢ふれあい交流館において「わんつか元気教室」を集团的・通所形態により実施した。

また、新型コロナウイルス感染防止のため、検温、手指の消毒、換気、椅子・テーブルの消毒等を行いながら実施した。

【実施期間・回数・参加者数】

・3ヶ月（10月～12月） 計12回

・参加者21名（男性2名、女性19名）

ストレッチ体操、筋力トレーニング、バランス感覚向上トレーニング、簡易な器具を用いた運動や認知症予防体操等を実施し、運動機能の維持と向上を図った。また、参加者個々の目標と支援計画をもとに、体力や身体状況に合わせ難易度の違うメニューを実施した。

筋力トレーニングは、下肢トレーニングを中心にコンディショニング期間、筋力向上期間、機能的運動期間と段階的に進め、参加者の継続意欲向上を図るため、毎回ホームプログラムを提示し、自宅でも運動に取り組めるよう推進を図った。

○指導スタッフ

作業療法士（運動指導1回）、介護予防運動指導員（運動指導3回）、看護師（12回）

介助ボランティア（12回：延べ24名）、社協職員（運動指導8回）

④家族介護者交流事業

介護者同士の交流と情報交換並びに心身のリフレッシュを図るため、在宅介護者の集いを開催するとともに、介護講座を開催し認知症についての理解を図った。

○第1回介護者の集いの開催

・期 日 令和4年7月26日（火）

・場 所 ハートフルプラザ・はしかみ（大会議室）

・参加者 18名

・内 容 フラワーアレンジメント教室

講師 フラワーサークル「CoCo」

主宰 千葉 智子 氏

レクリエーション（モルック）

○介護者のための「介護講座」の開催

・期 日 令和4年10月25日（火）

・場 所 ハートフルプラザ・はしかみ（大会議室）

・参加者 24名

・内 容 講話「経験を通じて」

講師 認知症の人と家族の会

青森県支部代表 世話人代表 石戸 育子 氏

レクリエーション（モルック）

○第2回介護者の集いの開催

・期 日 令和5年2月21日（火）

・場 所 ハートフルプラザ・はしかみ（教養娯楽室）

・参加者 22名

・内 容 座談会

（2）福祉団体等の育成支援

事務局を担当する福祉団体ごとに、役員会等において新型コロナウイルス感染症の影響により、活動自粛や感染防止対策等の協議を行いながら、事業実施等の対応を図った。

○事務局担当福祉団体

①階上町老人クラブ連合会

②階上町身体障害者福祉会

③階上町手をつなぐ育成会

④階上町母子寡婦福祉会

⑤階上町共同募金委員会

⑥階上町ボランティアサークルけやき

⑦階上町在宅介護者の会

(3) ハートフルプラザ・はしかみの管理運営（指定管理事業）

新型コロナウイルス感染症の影響により、感染予防対策をはじめ施設の使用制限等を含め町担当課との連絡・調整を図りながら、安全な施設利用のための対応を図るとともに、電気料や燃料費をはじめ物価が高騰する中、利用者の理解と協力を得ながら節電等管理経費の節減に努めながら管理運営を図った。また、新型コロナウイルスのワクチン集団接種会場として、町担当課と連携して施設管理上の必要な対応を図った。

○施設の利用状況

- ・利用回数 1, 561回（内使用料領収の回数：69回）
- ・月平均利用回数 130回（内使用料領収の回数：5回）
- ・利用人数 29, 819名（内使用料領収の人数：1, 625名）
- ・月平均利用人数 2, 489名（内使用料領収の人数：135名）

○図書の利用状況

- ・利用人数 670名
- ・月平均利用人数 55名
- ・利用冊数 2, 517冊（児童図書588冊、一般図書1, 929冊）
- ・月平均利用冊数 209冊（児童図書49冊、一般図書160冊）

○施設維持管理、設備機器点検内容

①浄化槽維持管理業務

保守点検：毎月1回、浄化槽清掃：年1回（12月）、水質分析検査：年1回（11月）
法定検査：年1回（9月）

②消防設備保守点検業務

機能保守：年2回（6月・12月）、総合保守：年1回（6月）、防火対象物点検：年1回（9月）

③自家用電気工作物保安管理業務

月次点検：需要設備2ヶ月に1回（5月・7月・9月・11月・1月・3月）、年次点検：年1回（1月）

④清掃業務

床ワックス清掃：年3回（7月・1月・3月）、ガラス清掃：年2回（5月・11月）
カーペット洗浄：年2回（5月・1月）

⑤ボイラー空調設備及び給湯ボイラー保守点検

ボイラー空調設備保守点検：年2回（7月・10月）、給湯ボイラー保守点検：年1回（7月）

⑥重油地下タンク清掃及び漏洩検査業務：年1回（7月）

⑦ステッブリフト点検業務：年2回（7月・12月）

⑧ピアノ調律・点検：年2回（5月・11月）

⑨レジオネラ属菌分析：年1回（12月）

⑩警備業務委託

警備員による土日祝日及び夜間（17時～21時30分）の施設の戸締り、設備巡視、図書貸出の受付等

⑪機械警備委託（セコム）

夜間（17時～翌日8時）等の施設の防犯、火災異常の機械警備

⑫自動ドア保守管理：年2回（7月・1月）

○消防訓練の実施

1回目

- ・期 日 令和4年11月22日（火）
- ・参加者 14名（職員9名、警備関係者4名、消防設備関係者1名）
- ・内 容 消火訓練、避難訓練

2回目

- ・期 日 令和5年3月29日（水）
- ・参加者 11名（職員5名、警備関係者3名、消防設備関係者3名）
- ・内 容 通報訓練、消火訓練、避難訓練

○意見・要望等の状況（意見箱によるもの）

- ・意見等件数 2件（ハートフルに関する1件、その他1件）

○新型コロナウイルスワクチン集団接種への対応

- ・接種日数 26日（4月：6日、5月：1日、7月：2日、8月：3日、9月：1日、10月：6日、11月：3日、12月：4日）

(4) いきいきシルバーバンク事業

高齢者の長年培った経験や知識、技術等を活かし、就労を通じて生きがいづくりや健康・福祉の増進を図るため、町より三陸復興国立公園等道路維持作業業務等を受託し階上岳登山道等の草刈り作業を進めるとともに、就業登録者の募集を図りながら一般世帯のニーズにより草刈り作業等の対応を図った。

○就業登録者 56名（内今年度登録者7名） 年度内登録解除者23名

○刈払機取扱安全講習会の開催

- ・期 日 令和4年6月13日（月）
- ・場 所 ハートフルプラザ・はしかみ（大ホール）
- ・参加者 13名
- ・講 師 三八地方森林組合 森林整備課係長兼新井田川流域支所長 沼沢 佳哉 氏
- ・内 容 講義、刈払機取扱実技

○三陸復興国立公園等道路維持業務等に係る作業打合せ会の開催

- ・期 日 令和4年6月17日（金）
- ・場 所 ハートフルプラザ・はしかみ（大会議室）
- ・参加者 16名（登録者12名、現場管理者2名、事務局2名）
- ・内 容 作業方法、作業場の心得、留意事項等について

※新型コロナウイルスの感染予防のため、新規作業者及び作業班長を対象として実施した。

○三陸復興国立公園等道路維持作業業務等草刈作業路線

- | | |
|----------------------|-----------------|
| ①登山口・石倉線（町道5,700m）2回 | ⑭臥牛園 2回 |
| ②寺下線（林道2,200m）2回 | ⑮放牧場遊歩道等 2回 |
| ③寺下・土折線（町道17,500m）2回 | ⑯大開平遊歩道（トレイル）2回 |
| ④館神社付近（トレイル300m）2回 | ⑰熊野堂（トレイル）2回 |
| ⑤上野・廿一線（町道500m）2回 | ⑱農村公園 2回 |
| ⑥銀杏木・寺下線（町道1,200m）2回 | ⑲三陸道溜池 1回 |
| ⑦野沢・燈明堂下（町道1,100m）2回 | ⑳旧田代小中教員住宅跡地 2回 |
| ⑧鳥屋部線（林道2,500m）1回 | ㉑旧新田児童館跡地 2回 |
| ⑨耳ヶ吠・寺下線（町道1,400m）1回 | ㉒旧給食センター周辺 2回 |
| ⑩平内線（林道2,100m）1回 | ㉓八工大二高付近（2ヶ所）2回 |
| ⑪田代線（林道2,900m）1回 | ㉔榊山町営住宅敷地 2回 |
| ⑫放牧場前（1,100m）1回 | ㉕軽井沢広域農道 1回 |
| ⑬中屋敷・岳線（町道2,200m）1回 | ㉖蒼前西7丁目調整池前 1回 |

○三陸復興国立公園等道路維持作業業務等草刈作業状況

- ・作業日数 43日間（6月：4日、7月：19日、8月：3日、9月：17日）
- ・実作業人員 登録者39名、現場管理者2名
- ・作業人員 延べ612名（登録者525名、現場管理者83名、事務局4名）

○住民ニーズへの対応

一般家庭の草刈り、草取り作業等軽易な作業の対応を図った。

- ・作業依頼件数 87件
- ・作業依頼者数 46名
- ・作業状況

依頼内容 内訳	草取り	庭木剪定	草刈り	除草剤散布	大工仕事	計 (延べ)
依 頼 件 数	20件	12件	51件	2件	2件	87件
作 業 人 員	36名	16名	68名	2名	2名	124名
作 業 日 数	27日	18日	61日	2日	7日	115日
延べ作業人員	43名	23名	82名	2名	7名	157名

- ・手数料収入 62,485円

3. 福祉課題の把握

民生委員児童委員やほのぼの交流協力員、関係機関等と連携を図りながら、コロナ禍における地域の福祉課題やニーズ把握等に努めるとともに、第4次地域福祉活動計画の策定に向けて、全地区を対象として地域福祉懇談会を開催し、福祉課題やニーズの把握に努めた。第3次地域福祉活動計画の進行管理のための委員会は、新型コロナウイルス感染症の影響等により設置することができなかった。

○地域福祉懇談会の開催状況

対象地区	開催日	開催場所	参加人数	備考（職員等出席者数）
石 鉢 野 場 中	令和4年6月27日(月)	石鉢ふれあい交流館	13	社協3、役場1
蒼 前	令和4年7月22日(金)	蒼前集会所	10	社協2、役場2
角 柄 折 鳥 屋 部	令和4年6月29日(水)	新田集会所	5	社協3、役場1
金 山 沢	令和4年7月1日(金)	金山沢水郷館	6	社協3、役場1
田 代	令和4年7月5日(火)	田代集会所	6	社協3、役場2
晴 山 沢 平 内	令和4年7月7日(木)	わっせ交流センター	11	社協3、役場2
赤 保 内 耳 ケ 吠 西	令和4年7月8日(金)	赤保内集会所	10	社協3、役場2
耳 ケ 吠 東	令和4年7月6日(水)	耳ケ吠東集会所	9	社協3、役場2
荒 谷 大 蛇 追 越	令和4年7月13日(水)	大蛇三地区集会所	10	社協3、役場2
榑 駅 前	令和4年7月20日(水)	道仏交流センター	8	社協2、役場2
道 仏	令和4年7月21日(木)	道仏集会所	8	社協2、役場2
小 舟 渡	令和4年7月19日(火)	小舟渡集会所	7	社協2、役場2
計			103	

II 福祉教育・ボランティア活動の推進

1. 福祉意識の高揚と人づくり

(1) 第44回階上町社会福祉大会

○期 日 令和4年11月25日(金)

○場 所 道仏交流センター

○スローガン 「ともに生き支えあう福祉のまちづくり」

○参加者 63名

○内 容 大会式典 社会福祉功労者表彰等（表彰者：伝達16名、表彰11名・感謝2個人・1団体）

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、講演等は行わず大会式典のみの開催とし出席者数を制限して実施した。

(2) 福祉サポーター養成講座の開催

○期 日 令和4年12月6日(火)

○場 所 ハートフルプラザ・はしかみ(大会議室)

○参加者 5名

○内 容 講義「高齢者の機能低下予防の基礎知識とサロンでできる体操について」

講師 八戸城北病院 理学療法士 上田 風香 氏

(3) 実習生の受入れ

訪問介護員実習生を受入れ、福祉に関わる人材育成を図るとともに、実習指導をととして職員の専門性の向上に努めた。(実習生受入人数：5名 八戸学院短期大学部介護福祉学科学生)

2. 福祉教育の推進

(1) ボランティア推進校事業の推進

町内全小中学校(小学校4校、中学校2校)を事業指定し、学校ごとの計画によりボランティア活動や体験学習などをととして、福祉への理解を深める取り組みを推進した。

○事業推進会議の開催

- ・期 日 令和4年5月19日(木)
- ・場 所 ハートフルプラザ・はしかみ(中会議室)
- ・参加者 9名(担当教師6名、会長、事務局2名)
- ・内 容 事業内容・留意事項説明、質疑・意見交換

○活動状況(活動報告書より)

学校名	主な活動内容
石鉢小学校	○見心園との交流 ○八戸第一養護学校との交流 ○緑の羽根募金等の募金活動、ベルマーク収集、プルタブ収集 ○町内巨木巡り ○太鼓部の町民文化祭への参加 ○ウクライナへの励ましの手紙送付
階上小学校	○学校だより等をととして活動状況掲載 ○デーリー東北の取材による階上小子どもえんぶり活動紹介 ○通学路の安全確認調査 ○地域の施設等の資源調査 ○階上岳の清掃登山 ○草刈り、通学路等の清掃活動 ○グラウンドゴルフを通しての高齢者との交流 ○階上小子どもえんぶり披露をととしての地域住民との交流 ○新年もちつき会をととしての地域住民との交流 ○赤い羽根共同募金等の募金活動 ○ペットボトル蓋の収集活動 ○八戸第二養護学校生徒とのプレゼント交換交流
赤保内小学校	○学校だより等への活動掲載 ○伝統文化継承のため駒踊り発表会を開催 ○米づくり、畑体験学習 ○福祉作文への取り組み ○地域あいさつ運動等を通しての地域住民との交流 ○赤い羽根共同募金等の募金活動 ○プルタブの収集活動 ○ALT 講師を招き、ハロウィンパーティーを通しての異文化理解
道仏小学校	○学校だより等への活動掲載 ○福祉作文への取り組み ○地域深検をととしての地域住民との交流 ○ごみ減量とリサイクルへの取り組み ○校内、海岸、神社の清掃、環境整備 ○米作り体験学習をととしての地域住民との交流 ○神楽組の方との道仏子ども神楽の指導を受けながらの交流と町子ども芸能発表会での「剣舞」の発表 ○学区のゴミ拾い活動 ○防災に係る活動 ○赤い羽根共同募金等への取り組み
階上中学校	○学校だより等への活動掲載 ○学校環境整備 ○赤い羽根共同募金への協力
道仏中学校	○活動の展示発表 ○赤い羽根共同募金等の募金活動 ○草刈り、花壇整備 ○通学路、海岸や公共施設等の清掃活動 ○ゴミの分別学習 ○大蛇御鳴りソーラン、小舟渡り上げ音頭披露をととしての地域住民との交流

(2) 幼児と高齢者のふれあい事業

町内児童福祉施設(保育園4ヶ所)において、施設の行事等をととして地域の高齢者と幼児のふれあい交流の促進に努めた。

○事業推進会議の開催

- ・期 日 令和4年5月19日(木)
- ・場 所 ハートフルプラザ・はしかみ(中会議室)
- ・参加者 6名(担当職員3名、会長、事務局2名)
- ・内 容 事業内容・留意事項説明、質疑・意見交換

○活動状況（活動報告書より）

施設名	主な活動内容
石鉢保育園	ちびっこ夏祭り、運動会、おにぎりクッキング、生活発表会の企画
階上保育園	園庭の草取り・花の手入れ、運動会、発表会、卒園式をとおしての交流
はまゆり保育園	じゃがいも植え、野菜苗植え、運動会、収穫祭をとおしての交流
道仏保育園	いもまき、さつまいも苗植え、旧端午の節句、人形劇鑑賞、七夕のつどい、さつまいも・大根まき、大根・さつまいも掘り、クリスマス会をとおしての交流

（３）第４３回社会福祉作文の募集と文集「そよ風」の発行

○応募総数 ４６編（小学生３８編、中学生８編） 町内全小中学校より応募

○審査会の開催

- ・期 日 令和４年１０月２５日（火）
- ・場 所 ハートフルプラザ・はしかみ（中会議室）
- ・出席者 審査員５名、事務局
- ・内 容 委員長選出、入選作審査（最優秀等入選８作品を決定）

○入選作品を掲載する文集「そよ風」第４３集を発行（１７０部）するとともに、最優秀作品の社協だよりへの掲載により、児童生徒の福祉に寄せる思いの理解と啓発を図った。

（４）福祉体験学習事業

中学生を対象として、町内の福祉施設での交流や体験学習を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、３年連続で中止とした。

３．ボランティア活動の推進

ボランティア団体、グループ活動情報登録の周知を図るとともに、安心、安全に活動できるようボランティア保険の周知と加入促進を図った。

○ボランティア保険の加入

- ・加入者数 ２８４名

Ⅲ 福祉情報の提供・総合相談・自立生活支援機能の充実

１．福祉情報の提供

（１）広報誌「社協だより」の発行

社協活動や福祉事業への理解と啓発及び情報提供のため、広報誌として「社協だより」の毎月発行を行い広報活動の充実に努めた。

○社協だよりの発行

- ・発行回数 毎月発行（年度内４２ページ）２色印刷
- ・発行部数 ５５，２００部（４，６００部×１２ヶ月）

※有料広告の掲載事業所はなかった。

（２）社協ホームページの運用・更新

社協ホームページにより、インターネットによるタイムリーな事業や活動状況の周知を図った。

（HP アドレス <http://www.shakyo.or.jp/hp/220/>）

2. 相談体制の充実

コロナ禍により、住民の抱える問題や悩み事が更に複雑化、深刻化する中で、行政相談員・人権擁護委員をはじめ関係機関との連携のもとに相談支援を図るとともに、高齢者相談窓口として町地域包括支援センターとの連絡調整を図りながら事業の推進に努めた。また、専門相談のニーズに対応し毎月1回弁護士による法律相談を実施し、相談者の抱える問題の解決に努めた。

- 相談員数 10名（民生委員4名、学識経験者6名）
- 相談所開設日数 31日（毎週火曜日定例相談所開設、毎月第3火曜日合同相談所開設、毎月第4火曜日法律相談所開設）
- 利用者数 44名（男性18名、女性16名、同伴者10名）
- 相談件数 34件（心配・合同相談：7件、法律相談：27件）
- 運営委員、相談員合同会議（事例研究含む）の開催
 - ・期 日 令和5年2月27日（月）
 - ・場 所 ハートフルプラザ・はしかみ（中会議室）
 - ・出席者 14名（相談員9名、運営委員2名、会長、事務局2名）
 - ・内 容 令和4年度相談利用状況について、令和4年度相談事例について
令和5年度相談所の運営について、令和5年度相談所開設日程について

○相談項目ごとの件数と処理状況

相談事項 件数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	合
	生計	年金	職業・生業	住宅	家族	結婚	離婚	健康・保健・衛生	医療	人権・法律	財産	事故	児童福祉・母子保健	教育・青少年	障害者（児）福祉	母子福祉・父子福祉	老人福祉	苦情	その他	計
取扱件数			1	2	4				1	8	14							1	3	34
処理状況	処 決		1	2	4				1	6	12							1	2	29
	再 来																			
	民生委員																			
	他 機 関									2	2								1	5
	そ の 他																			

3. 自立生活支援の充実

（1）給食サービス事業

- サービス実施回数 102回（水曜日49回、金曜日50回、火曜日1回、木曜日2回）
- サービス利用実人数 12名（一人暮らし8名、その他4名）
- サービス利用延べ人数 597名（水曜日295名、金曜日302名）
- ボランティア延べ人数 87名（配食補助）
- 弁当依頼事業所 社会福祉法人サポートセンター虹（八戸市）
- 年末年越し配食サービス（12月31日実施）

75歳以上の一人暮らしの高齢者で、大晦日の年越しを一人で過ごされる方を対象に、ボランティアの協力を得ておせち料理の配食を実施した。

- ・利用者数 133名
- ・配食ボランティア 18名

(2) 福祉機器貸与事業

介護を必要とする高齢者等を対象として、福祉機器の貸出しを行い、介護負担の軽減を図るとともに、在宅での自立生活支援を図った。また、機器整備につながるプラタブの収集を図った。

○利用状況

機器名	前年度末 機器台数	寄附受入 台数	廃棄処分 台数	年度末 機器台数	前年度末 貸出台数	貸出台数	返却台数	年度末 貸出台数
介護用ベッド	13	0	4	9	13	0	4	9
車椅子	50	1	0	51	26	19	13	32

○プラタブ収集状況 年度内収集量 330kg(換金額:27,280円)

(3) 日常生活自立支援事業

軽度な判断能力の低下に伴い、一人で生活することの不安感や日常的な金銭管理が困難な高齢者等を対象として、基幹的社協（八戸市社協）や関係機関、生活支援員との連携のもとに日常生活上の支援を図った。

- ・利用者数 2名
- ・生活支援員 2名

(4) 介護保険サービス事業等の推進

高齢者や障がい者の自立した在宅生活支援のため、新型コロナウイルスの感染予防・防止対策を徹底しながら、保健・医療・福祉の関係機関並びに関係サービス事業所、町地域包括支援センターと連携し、包括的なサービス対応を図るとともに、利用者本位のサービスとして事業の推進を図った。

①居宅介護支援事業

- 介護支援専門員の配置 1名（専任1名）
- ケアプラン作成実利用者数 43名（男性16名、女性27名）
- ケアプラン作成延べ利用者数 404名
- 予防ケアプラン作成実利用者数 7名（男性3名、女性4名）
- 予防ケアプラン作成延べ利用者数 71名
- 要介護認定調査件数 33件
- 介護サービス情報公表制度実地調査受審（令和4年11月11日）
- 利用者アンケート調査 調査対象者数 42名
回答者数 29名（回答率69%）
実施時期 令和5年1月
調査方法 調査票の郵送

②訪問介護事業（特定事業所加算Ⅱ算定）

- 訪問介護員数 8名（常勤1名、登録型7名）
- 実利用者数 46名（男性15名、女性31名）
- 期間内利用者合計 369名（介護253名、総合事業116名）
- 延べ利用日数 3,555日（介護3,040日、総合事業515日）
- 延べ利用回数 4,896回（介護4,381回、総合事業515回）
- 延べ利用時間数 3,209時間36分（介護2,694時間36分、総合事業515時間）
- 実習生の受入れ 5名（八戸学院大学短期大学部介護福祉学科生5名）
- 実習日数 10日
- 利用者アンケート調査 調査対象者数 25名（介護保険利用者21名、障害福祉サービス利用者2名）
回答者数 18名（回答率72%）
実施時期 令和5年1月
調査方法 調査票の郵送

③居宅介護事業（障害福祉サービス）

- 実利用者数 2名（視覚障害1名、下肢機能障害1名）
- 期間内利用者合計 20名
- 延べ利用日数 133日
- 延べ利用回数 155回（通院介助11回、家事援助144回）
- 延べ利用時間数 184時間（通院介助40時間、家事援助144時間）

（５）福祉サービス苦情解決体制

○苦情解決第三者委員会の開催

- ・期 日 令和5年3月10日（金）
- ・場 所 ハートフルプラザ・はしかみ（応接室）
- ・参加者 6名（委員3名、会長、事務局2名）
- ・内 容 苦情解決の取組み及び苦情等受付状況の説明

○福祉サービス苦情受付状況

年度内における苦情の申出はなかった。

（６）各種資金貸付事業の推進

低所得世帯や高齢者世帯、障害者世帯等の日常生活上の経済的支援と自立に向けて、民生委員や県社協、町担当課及び生活困窮者自立支援窓口等との連携のもとに、資金貸付事業の対応を図るとともに、新型コロナウイルス感染症の影響により、収入が減少し生活に困窮する世帯に対する生活福祉資金の特例貸付の対応を図った。

①たすけあい資金の貸付

- 前年度末貸付原資金額 7,582,023円
- 前年度末貸付金額 2,882,914円（45件）
- 本年度貸付金額 45,000円（2件）
- 本年度償還金額 160,000円（4件）
- 本年度末貸付金総額 2,767,914円（43件）
- 本年度末貸付原資金額 7,582,061円

②高額療養費資金の貸付

- 前年度末貸付原資金額 4,189,972円
- 前年度末貸付金額 583,000円（3件）
- 本年度貸付金額 0円（0件）
- 本年度償還金額 44,000円（0件）
- 本年度末貸付金総額 539,000円（3件）
- 本年度末貸付原資金額 4,189,972円

③生活福祉資金の貸付

- 本年度決定金額 2,400,000円（8件）
特例緊急小口資金1,200,000円（6件）、特例総合支援資金1,200,000円（2件）

○利用状況

資金種類	利用件数	貸付決定金額	貸付残高（元金）
教 育 支 援 資 金	11	6,232,290円	4,149,600円
緊 急 小 口 資 金	6	390,000円	161,250円
離 職 者 支 援 資 金	1	2,400,000円	2,057,160円
総 合 支 援 資 金	12	14,231,000円	11,750,130円
特例緊急小口資金	43	7,600,000円	7,183,570円
特例総合支援資金	19	8,826,000円	8,752,250円
計	92	39,679,290円	34,053,960円

※新型コロナウイルス感染症の影響に伴う特例貸付相談件数 13件

(7) フードバンク事業

新型コロナウイルスの影響等により、生活困窮に陥っている世帯に対し、町担当課や生活困窮者自立支援窓口、民生委員等と連携し相談支援と一時的な食糧支援を行った。

- ・食糧配付世帯数 13世帯（配付食糧数：216個）

(8) 乳児用おむつ等支給事業

乳児を養育する保護者に対し、町担当課と連携し乳児用おむつとおしり拭きをセットで支給し子育て支援を図るとともに、社会福祉への理解を図った。

- ・支給世帯数 24世帯

(9) 移送・移動支援サービス等の実施検討

高齢者や障害のある方等の通院などを目的とした移送・移動支援サービスについて、三戸郡内町村社協からの情報収集に努めるとともに、職員会議において実施等の検討を図った。

IV 災害時支援体制の充実

災害ボランティアセンターの運営に関わるボランティア並びに被災者への救援活動を行うボランティアとして必要な知識を習得し理解を深めるため、「災害ボランティア講座」を開催するとともに、災害ボランティア及び災害ボランティアセンター運営スタッフ登録者の募集を図った。

○災害ボランティア講座の開催

- ・期 日 令和5年2月24日（金）
- ・場 所 ハートフルプラザ・はしかみ（大ホール）
- ・参加人数 19名
- ・内 容 講義「災害ボランティアセンターの仕組みについて」
演習「災害ボランティアセンター設置訓練」
講師 八戸学院大学短期大学部
介護福祉学科 准教授 鳴海 孝彦 氏
情報提供「階上町ハザードマップについて」
町総務課行政防災グループ 副島 寛明 氏

○災害ボランティア等登録状況

- ・災害ボランティア全登録者数 21名（新規登録者数3名）
- ・災害ボランティアセンター運営スタッフ全登録者数 19名（新規登録者数3名）

V 社協の機能・体制強化

1. 社協組織の強化

継続的・安定的な事業の実施や経営基盤の強化に向けて、専門部会や各委員会等での協議検討を進めるとともに、社会福祉法や介護保険法をはじめ関係法令等に則した事業の推進と組織の運営を図った。また、インターネットバンキングサービス（あおぎん AB-web）の利用により効率的な経理事務と経費削減に努めるとともに、外部専門家（税理士）による財務諸表等のチェック・指導を受けながら適正な組織運営に努めた。

2. 財政基盤の整備

（1）社協会員の加入促進

各地区とも区長、班長の方々のご協力をいただき、社協事業の理解と周知を図りながら会員加入の促進に努めた。また、新型コロナウイルス感染症の影響により会費納入期間を延長（7月～8月までの2ヶ月間）するとともに、町内法人・事業所の団体会員への加入促進に努めた。

○会員数

会員区分	令和4年度	令和3年度	比較増減
普通会員（1,000円）	2,763	2,747	16
賛助会員（2,000円）	66	68	△2
特別賛助会員（5,000円）	16	20	△4
団体会員（3,000円）	48	51	△3
合 計	2,893	2,886	7

（2）公費助成の確保

社協が公共性の高い地域福祉推進の中核的組織であることに鑑み、地域福祉推進のための補助金・受託金について、町の理解と公費助成の継続的交付のための働きかけを行った。

○補助金、委託金に係る陳情

- ・期 日 令和4年11月28日（月）
- ・場 所 役場3階委員会室
- ・出席者 12名（町長、副町長、総務課長、総合政策課長、介護福祉課長、福祉グループリーダー、主幹、正副会長、常務理事、事務局）

（3）共同募金運動への協力

階上町共同募金委員会を中心として、共同募金運動の趣旨や配分事業の周知と理解を図りながら、地域福祉活動を支える募金運動への協力を図った。

○目標額 2,620,000円

○募金実績概要

募金種別	実績額
戸 別 募 金	2,141,934円
法 人 募 金	317,000円
学 校 募 金	51,494円
職 域 募 金	33,441円
そ の 他	161,461円
合 計	2,705,330円

3. 職員研修の充実等

新型コロナウイルスの感染予防・防止の観点から対面による集団的な研修会等への参加は自粛し、Zoom 等によるリモート研修を中心として研修への参加を図るとともに、職員会議においてコロナ禍における事業検討や福祉サービス向上のための協議及び自己評価の取り組み等をととして、社会福祉援助者としての職員の資質向上に努めた。

○職員会議の開催

毎月1回（12回開催）

○社協自己評価の実施

評価方法：青森県市町村社会福祉協議会自己評価指針により評価を実施した。

評価者：正職員全員（6名）

実施時期：令和4年12月～2月（自己評価指針評価シートによるチェック、集計）
3月（評価まとめ）

○外部研修参加状況

・事務局職員

社協の介護サービス事業の今後の展開等に関する勉強会（リモート）

三戸郡災害時広域連携活動研修会（リモート）

全社協第2回オンラインサロン（リモート）

県連絡会生活支援コーディネーター部会（リモート）

県市町村社協連絡会三八ブロック研修会（リモート）

生活福祉資金貸付事業担当者研修会（リモート） 等

・介護事業職員

介護サービス情報の公表制度「10のテーマに係る研修会」（リモート）

県連絡会介護保険部会（リモート）

処遇改善加算取得セミナー（リモート）

戸地域介護支援専門員協議会研修会（リモート） 等

令和４年度事業報告附属明細書

令和４年度事業報告には、「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため、作成しない。

社会福祉法人
階上町社会福祉協議会
会 長 松橋 竹子